

協会けんぽが「理念」に基づいて継続的に重点的に検討していくべき事項の例

1. 自主自立の経営
  - ・(政府等の立場に配慮しすぎない) 加入者本位の保険者の立場を重視した経営
2. 加入者本位の姿勢
  - ・加入者＝医療消費者(患者)と再認識した加入者視点中心の姿勢の打ち出し
3. 加入者意見に基づく方針決定
  - ・支部評議会/運営委員会への医療消費者代表の参画、加入者アンケートの意見の尊重などに基づく政策・方針決定
4. 医療消費者擁護の観点の強化
  - ・医療の質/患者安全/格差解消など医療消費者擁護の観点からの発信・発言
5. (地域や施設などによる) 医療の質等の格差解消への働きかけ
  - ・医療消費者アウトカム/医療サービス提供プロセス等の“均てん化”に向けた発信・発言
6. 加入者/患者アウトカムの向上を目指した保険者機能強化
  - ・(協会けんぽの経営パフォーマンスの向上のみならず) 加入者状態およびその前段階としての医療の質や医療提供体制の最適化を指標に入れた保険者機能の強化
7. 調査・研究機能の発展
  - ・医療のアウトカムや質などに関する包括的なモニタリングとデータ可視化の実施と、課題がありそうな部分へ注意喚起
8. 加入者への医療の質等に関するデータと情報の提供
  - ・加入者利便/医療消費者意識/協会けんぽ経営参画意識などの向上に資するため、ウェブ/メルマガ/レターなどを通して、医療等の地域別アウトカム・プロセス・ストラクチャー指標等に関する情報を提供
9. 運営委員会における議題設定
  - ・保険料率以外の議題に関しても、医療・保健・効率化・運営の4本柱のいずれをも重視し、医療についても十分な議論ができる議題の設定と資料の作成
10. 将来ビジョンの発信
  - ・医療基本法の制定の促進と、(費用節約論のみならず必要な財源確保論も含んだ) 将来ビジョンの提出

【参考】協会けんぽ理念から(\*下線部は、認識や議論が十分でなかったと考えられる部分)

●基本使命

「……加入者の健康増進を図るとともに、良質かつ効率的な医療が享受できるようにし、もって加入者及び事業主の利益の実現を図る」

●協会けんぽキーコンセプト:

①加入者及び事業主の意見に基づく自主自律の運営②加入者及び事業主の信頼が得られる公正で効率的な運営③加入者及び事業主への質の高いサービスの提供④被用者保険の受け皿としての健全な財政運営